

図書館の窓

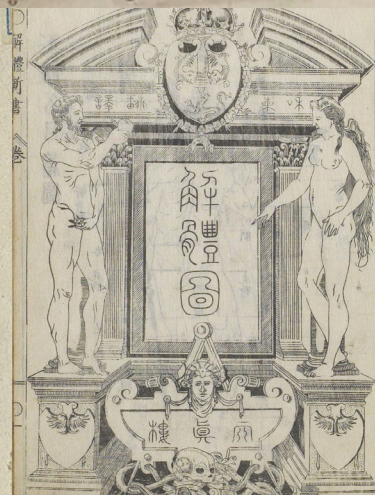
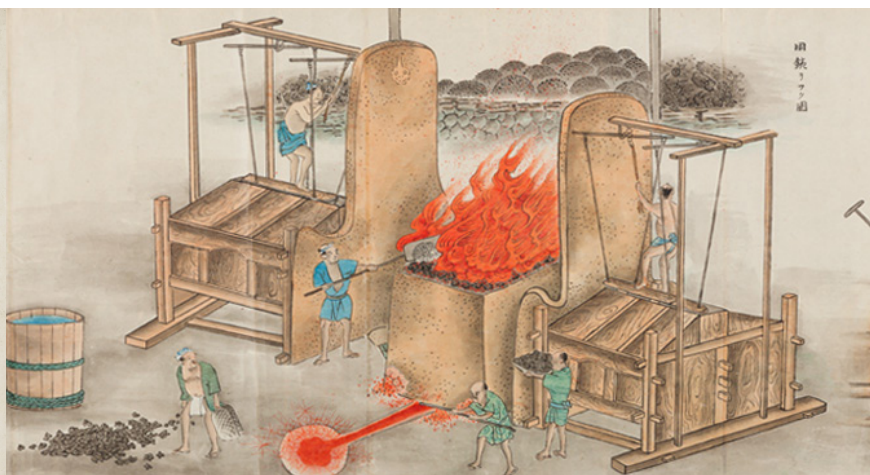
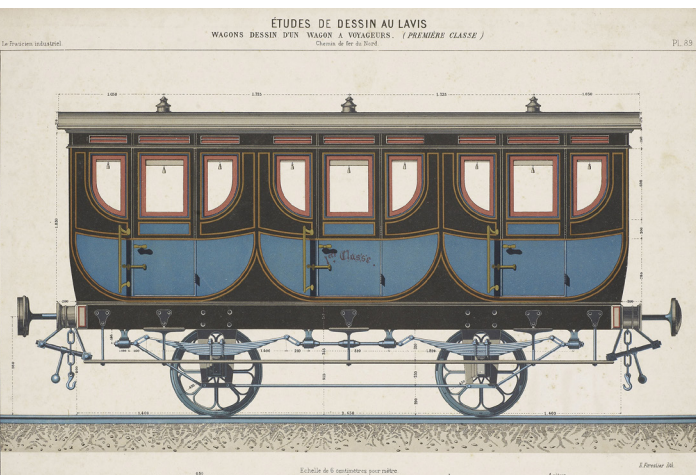
ようこそ東京大学へ

東京大学附属図書館 利用ガイド2025

電子リソース・文献管理ツールを活用しよう

実践! 附属図書館 活用のススメ

2025.4
Vol.63 No.1



「使用画像」 上段左から 駒場博物館『PL.89 MÉCANIQUE No.64』/工3号館図書室『先大津阿川村山砂鉄洗取之図』
 中段左から 農学生命科学図書館『群芳圖譜 第1輯第8編』/総合図書館『摺拾印刷雑帖』/医学図書館『解體新書 序図』
 下段左から 総合図書館 鷗外文庫の蔵書印/総合図書館『百鬼夜行図』
 すべて東京大学デジタルアーカイブポータルで利用可

初めて利用する方へ

東京大学附属図書館 利用ガイド2025

ようこそ
東京大学へ!



東京大学には、本郷地区キャンパスの総合図書館、駒場地区キャンパスの駒場図書館、柏地区キャンパスの柏図書館という3つの**拠点図書館**があり、加えて学部・研究科や研究所等にそれぞれ設置されている27の**部局図書館・室**があります。これら30の図書館・室が一体となってサービスを提供しているのが「東京大学附属図書館」です。



ご活用ください!

★ホームライブラリ

ご自身の所属する学部・研究科にある図書館・室があなたのホームライブラリです。他の図書館から取り寄せた資料の受け取りなど、各種サービスはホームライブラリが窓口になります。困った時はまずホームライブラリへ、お気軽にご相談ください。
※所属と実際の研究拠点が異なる場合は、研究拠点の最寄りの図書館・室にご相談ください。

★UTokyo Wi-Fi

東京大学の構成員がキャンパス内で利用できる学内共通無線LANサービスです。拠点図書館（総合・駒場・柏）のほか、一部の部局図書館・室でも利用できます。利用にはUTokyo Wi-Fiアカウントの取得が必要です。詳細はWebサイトをご確認ください。



UTokyo Wi-Fi

https://utelecon.adm.u-tokyo.ac.jp/utokyo_wifi/

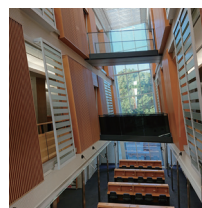
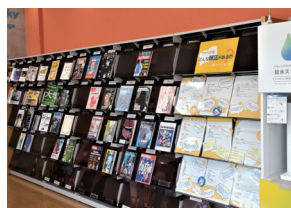
拠点図書館紹介

駒場地区キャンパス 駒場図書館

※大学院総合文化研究科図書館を兼ねる

駒場図書館は、多くの前期課程1年生にとって最も身近な図書館です。地上4階、地下2階の建物に収蔵された幅広い分野の図書（約71万冊）・雑誌（約6,000タイトル）のほか、閲覧席1,076席やグループ学習室等の学習環境が整備されています。ECCS端末も利用できます。

勉強から離れて気軽に読める雑誌を集めた1階Sky Loungeや、吹き抜けて開放感のある2階閲覧席、隣接する矢内原公園を眺められる地下1階閲覧席など、目的に合わせてお気に入りの場所を見つけてみてください。



図書館をもっと便利に使うために、
駒場図書館Webサイトに掲載の「図書館活用ガイド」をぜひご覧ください!
<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/komaba/user-guide/campus/guide>

図書館活用ガイド



駒場図書館キャラクターこまたちゃん



本郷地区キャンパス

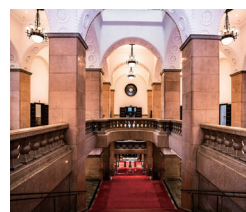
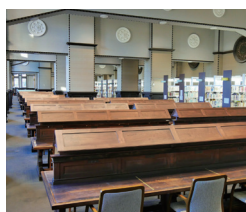
総合図書館

総合図書館は、蔵書約140万冊、閲覧席1,111席の学内最大規模の図書館です。ECCS端末(全68席)も利用できます。

本館には静かに学習できる閲覧席のほか、オンライン授業・語学学習などで発声できる防音ブースや、グループ学習に利用できるプロジェクトボックスがあります※。別館ライブラリープラザも会話可能です。学習や研究のスタイル、キャンパスでの過ごし方に合わせてご利用ください。

※防音ブース・プロジェクトボックスを利用するためには、事前にMyOPACから予約してください。

現在の総合図書館は、関東大震災での旧図書館焼失の後、1928年に再建された建物です。内田祥三(のちの第14代総長)による設計で、建築史に残る傑作と言われています。2015年から2020年にかけて改修工事を行い、現代に適した学習環境を整備するとともに、創建当時の意匠を復元しました。



最新の開館情報や各種お知らせは総合図書館Webサイトをご確認ください。

■総合図書館Webサイト

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/general>



柏地区キャンパス

柏図書館

柏キャンパスの正門から、左手に見えるガラス張りの建物が柏図書館です。1階にはセミナー室やホールといった会議施設やゆったりとくつろげる休憩スペースがあり、2階には学習用図書や研究資料をそろえた図書館施設があります。また、自然科学系雑誌のバックナンバー40万冊以上が収納された自動書庫を備えています。

館内ではECCS端末が利用できます。グループワークや個人でのオンライン会議・語学学習などに利用できる、声出しが可能なスペースもあります。

また、サイエンスカフェやミニコンサートなどのイベントも随時行っています。自習の場に、授業や研究の息抜きの場に、ぜひご利用ください。



最新の開館情報や各種お知らせは柏図書館Webサイトをご確認ください。

■柏図書館Webサイト

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/kashiwa>



図書館・室を利用しよう

◆開館時間・休館日 — Webサイトで最新の情報を確認しよう



図書館・室ごとに開館時間・休館日が異なります。利用する前に、必ずその図書館・室のWebサイトをチェックするようにしましょう。図書館・室のWebサイトへのアクセスは、附属図書館Webサイト「図書館一覧」からが便利です。



◆利用手続き

- 学生 UTASでメールアドレスを登録する
- 教職員 ホームライブラリで所定の手続きをする

学生証・職員証がそのまま利用証になります!



◆貸出のルール

◎拠点図書館(総合・駒場・柏)

基本的に、各図書館で図書は10冊まで2週間借りられます。ただし、資料の種類やご自身の身分によっては、どのくらいの期間借りられるのかが異なることがあります。詳しくはWebサイトをご確認ください。

◎他の図書館・室

それぞれ条件が異なります。利用する図書館・室のWebサイトをご確認ください。

※貸出できない資料もあります。その場合は館内で利用しましょう。

◆返却のルール

学内図書館・室で借りた資料であれば、すべての学内図書館・室で返却することができます。

※ただし、貸出時に指定された場合は、指示された図書館・室へ返却してください。



延滞をすると、貸出停止になる場合があります。返却期限を守りましょう。

◆わからないことがあったら — ASKサービスで質問しよう

ASKサービスは、図書や文献、情報の検索や利用に関する質問・相談サービスです。回答はメールでお送りします。

■東京大学附属図書館ASKサービス

<https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/ask/>



UTokyo
Diversity&Inclusion

附属図書館のダイバーシティ&インクルージョン

◆読むこと・聴くことが困難な方へ

資料電子化サービスや、国立国会図書館視覚障害者等用データの取り寄せを実施しています。拡大読書器や簡易筆談器なども用意しています。困ったことがありましたらお気軽にご相談ください。

◆未就学のお子さまをお連れの方へ

拠点図書館(総合・駒場・柏)をご利用いただけます。ホームライブラリやご利用になる図書館・室にもご相談ください。詳しくは各図書館・室へ!

資料をさがすには — 東京大学OPAC (オーパック) を使おう

東京大学附属図書館で所蔵している資料は、「東京大学OPAC」で検索することができます。読みたい図書や雑誌をOPACで検索し、所蔵している図書館・室を訪れて資料を利用してみましょう。



■東京大学OPAC

https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/opac/opac_search/



「MyOPAC」でもっと便利に

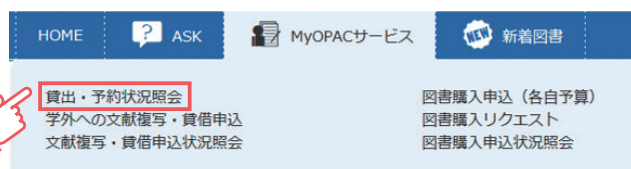
UTokyo Accountでログインすると色々なサービスを利用できます。



①貸出・予約状況照会 — 貸出期間の延長も!

「貸出・予約状況照会」ページで状況の確認や貸出期間の延長ができます。

※次の予約が入っている場合、延滞している場合、所定の延長回数を超える場合は延長できません。



②資料の予約・取り寄せ

予約/取寄

他の利用者が借りている図書を予約することができます。また、他の図書館・室の図書をホームライブラリ、または拠点図書館 (総合・駒場・柏) に取り寄せることもできます。予約/取寄は無料です。

コピー・PDF

図書や雑誌の必要な部分のコピー・PDF*を取り寄せることができます。有料のため、事前にホームライブラリで手続きが必要です。

※PDFの取り寄せは学内の一部図書館・室のみ対応。東大のキャンパス内で閲覧・印刷ができます。

※PDFの閲覧期限は通常、図書館・室からのメール通知後、2週間です。閲覧期限に注意してお申し込みください。

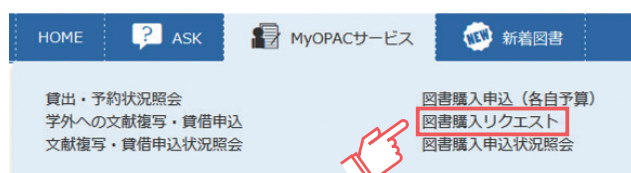
所蔵情報を并表示

本郷キャンパス	配架場所	巻次	請求記号	登録番号	状態	文庫区分	刷年	コメント	コピー申込	PDF申込	予約/取寄
総合図・3F簡架			809.7:A53	0012203451					図書購入申込	PDF申込	予約/取寄
工1A・社基回			PF:s04	1011217922				学生用図書	図書購入申込	PDF申込	予約/取寄
工2・図書室			809.7:Si8	1011461371			2007.5		図書購入申込	PDF申込	予約/取寄
工2・電子情報			081:195:T	2310027905	研究室				図書購入申込	PDF申込	予約/取寄
学模・図			T-a:159	6611651784					図書購入申込	PDF申込	予約/取寄

③購入リクエストをしてみる

学習や研究にしたい本が図書館・室にない時は、ホームライブラリ、または拠点図書館にリクエストできます。「図書購入リクエスト」からお申し込みください。

※図書館・室ごとに資料購入の方針があり、方針や予算等の都合で購入できない場合があります。



MyOPACを
使い終わったら
必ずログアウト!



迷ったら

MyOPAC文献・図書取り寄せサービス利用ガイドを確認!

https://opac.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/webreq/ill/ill_help.html



電子リソース・文献管理ツールを活用しよう

図書館で提供しているのは紙の資料ではありません。東京大学所属者の方は電子リソース(電子ジャーナル・電子ブック・データベースなど)や文献管理ツールを利用することができます。これらは自宅からでも使うことができます。



電子リソースとは? インターネット上で読んだり使ったりできる資料のこと。

■電子ジャーナル

インターネット上で読むことのできる学術雑誌のこと。「E(イー)ジャーナル」「オンラインジャーナル」などと呼ぶこともあります。紙の雑誌のように印刷・発送の時間がかからず、すぐに読めるのが電子ジャーナルの特徴です。

例えば… 『Nature』『Cell』などの雑誌の電子版

■電子ブック

インターネット上で読むことのできる図書のこと。「E(イー)ブック」「電子書籍」などと呼ぶこともあります。大学図書館で利用できる電子ブックの多くが学術書です。音声や動画が掲載されていたり、本文を検索できたり、といった特徴があります。

例えば… 『理系総合のための生命科学』『東京大学のアクティブラーニング』などの図書の電子版



電子ジャーナル・電子ブックは、東京大学OPACまたはE-journal & E-book Portalから検索できます。

■データベース

大量のデータを集めて整理し、必要な情報を検索できるようにしたもの。データベースはそれぞれ検索できる対象が異なっているため、目的に応じて使い分けるようにしましょう。

例えば…	目的	データベース名
	日本語論文を探したい	➔ CiNii Research
	英語論文を探したい	➔ Web of Science コアコレクション
	見出しや本文から、新聞記事を探して読みたい	➔ 朝日新聞クロスサーチ
	さまざまな辞書・事典をまとめて検索し、調べた内容を読み比べたい	➔ JapanKnowledge Lib
	明治から今日までの日本の判例を探して読みたい	➔ LEX/DBインターネット
	国内発行の医学・歯学・薬学・看護学および関連分野の論文を探したい	➔ 医中誌Web
	主に化学・薬学分野の論文・特許や、化学物質および有機化学反応情報などを探したい	➔ CAS SciFinder Discovery Platform
	東京大学で使える論文や図書をまとめて検索したい	➔ TREE

※ここにあげたデータベースは一例です。同じ目的でも、異なるデータベースを使って検索することもできます。また、上に挙げた以外の目的に使えるデータベースもたくさんあります。データベースの探し方は6ページを参考にしてください。

⚠ 電子リソース利用上の注意

電子リソースによっては、同時に利用できる人数に制限があります。利用が終了したら、必ずログアウトをしてください。電子リソースを東京大学以外の人に利用させることや、大量ダウンロードなどは不正利用として禁止されています。不正利用が疑われると、東京大学全体で電子リソースの利用が停止され、多くの人の学習・研究に支障をきたしますので絶対に行わないでください。

■電子リソース利用上の注意

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy/user-guide/campus/caution>
このページでは、不正利用の具体例や、利用上の注意点を詳しく説明しています。電子リソースを利用する前に必ずご一読ください。



適正な利用を
お願いします!

◎電子リソースを使ってみよう!

附属図書館Webサイトの「データベース一覧」のページから、東京大学で利用できるデータベースを探すことができます。5ページで紹介している電子リソースはここから検索して利用できます。

データベース名のほかに、データベースの説明文なども対象に検索できるので、調べたい内容や研究テーマを入力すると、思いがけないデータベースが見つかるかもしれません。

CiNii Research

Off-Campus Open

利用してみる

データベース名の下にある「利用する」ボタンから



■データベース一覧

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/database>

◎学外から電子リソースを使うには?

ご自宅など、学外から電子リソースを使う際には、「EZproxy (イージープロキシ)」というサービスにログインをしてください。EZproxyにログインするためには、UTokyo Accountが必要です。

電子リソースの中には、利用が学内からのみに限定されるものや、学外からのアクセスが東京大学所属者の一部の方のみに限定して認められているものもあります。

■EZproxy (イージープロキシ) 経由で利用する

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy/user-guide/campus/offcampus/ezproxy>



文献管理ツールも使ってみよう!

学生のみなさんはこれから多くの課題に取り組み、レポートをたくさん書くこととなります。レポートや論文を書く際は、参考にした文献について、文末にリスト化して示す必要があります。

文献管理ツールは、毎回のレポートに添える参考文献リストの作成を省力化してくれる便利なツールです。また、データベースなどの情報源から集めた文献情報を簡単に取り込んだり、フォルダ分けやタグ付けなどをして整理したりすることもできます。

文献管理ツールには無料で利用できるものもありますが、東京大学所属者の方はRefWorks、Mendeley、EndNote onlineの3つを機関契約で利用可能です。機関契約版は、無料バージョンよりも容量が多いなどの利点があります。ぜひ活用してみてください。

RefWorks、Mendeley、EndNote onlineは以下のページから利用登録して使いましょう。

■東京大学で利用可能な文献管理ツール

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy/user-guide/campus/ref>



「電子リソースや文献管理ツール、便利そうだけど、使い方がよくわからない…!」
そんな方は、講習会に参加しましょう!定期的に講習会を開催しています。

Literacy

附属図書館Webサイト内にある「Literacy」は、東京大学で利用できる学術情報を、探せて、使えて、学べるサイトです。このページで紹介している電子リソースやWebサイトは全て「Literacy」からアクセスできます。データベースの活用法やレポート・論文の書き方に関する情報も掲載しています。

■Literacy

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/literacy>



講習会実施中!

論文の探し方、専門分野ごとのデータベースの利用方法や活用のコツを知ることができる講習会を、主にオンラインで開催しています。お気軽にご参加ください。申込みはイベントページから行えます。今後のスケジュールは講習会ページのカレンダーを参照ください。

実践! 附属図書館 活用のススメ

新しい生活に思いを馳せながら東大に入学したみなさんを待ち受けているのは、知的好奇心を大いに刺激するあらゆる分野の数多の授業。興味関心の幅が広がれば広いほど、取りたい授業も知りたい事柄も日ごとに増えてゆくでしょう。そんなみなさんを、頼れる先輩や先生方はもちろん、「東京大学附属図書館」もいつでもサポートします!

さて、みなさんと同じ新生のあたらしさんも、どうやら学びの過程で壁に突き当たったようですが……?



ある日の駒場図書館、あたらしさんは課題のための本を探していました



う〜〜ん、どこだろう……



あたらしさん、どうしたの?

あたらしさん: たのもし先輩、ちょうどいいところに!
実は、授業で指定された本を探してるんですけど、見つからなくて……。

たのもし先輩: なるほどね。どこの本棚にあるかは調べた?

あたらしさん: それが、調べ方がわからなくて、とりあえずうろうろ探していたんです。

たのもし先輩: 図書館で、実際に本棚を見ながら偶然本に出会う楽しみもいいよね。でも、見つけたい本があるときは、**「東京大学OPAC」**で場所を調べるところから始めてみよう!

4ページをチェック!

この本は駒場図書館3階、778だから映画の本棚にあるね!本の背には請求記号のラベルが貼ってあるんだ。図書館ごとに分類の仕方が異なることもあるけれど、これをヒントに本を探してみてね。



所蔵情報を非表示										
本郷キャンパス										
配架場所	巻次	請求記号	登録番号	状態	文庫区分	刷年	コメント	コピー申込	PDF申込	予約/取寄
総合図・3F 開架		778.04:H39	0015042088							
学環・図		F-c:96	6613318184							
駒場1キャンパス										
配架場所	巻次	請求記号	登録番号	状態	文庫区分	刷年	コメント	コピー申込	PDF申込	予約/取寄
駒場図・3F開架		778.04:H39	014606879			2022.6				

他の図書館にあるときは、「予約/取寄」ボタンをクリックするとMyOPACのページに飛んで、取り寄せの申請をすることも!



後日、ふたたび駒場図書館にて



たのもし先輩: あれからどうかな、課題は進んでる?

あたらしさん: たのもし先輩! この前はありがとうございました! おかげさまで課題の本は無事手に入りました。でも、読み込めば読み込むほど、レポートを書くにはまだ知識や情報が足りないことに気づかされます……。何から手を付けたらいいか……。

たのもし先輩: 参考文献もあたらないとだね。そんなときは、ここを見よう!

Check Point

文献の調べ方など、レポート・論文作成の方法に役立つ情報は、**Literacy (6ページ参照)** や駒場図書館Webサイトの『**図書館活用ガイド**』(1ページ参照)を参考にしてみましょう。動画やリーフレットで、大学図書館をはじめて利用する方が参考になる情報をまとめているので、探し方の基礎やコツを学ぶことができます!また、図書館では学外から利用することのできる電子リソースも提供しているため、家にいながら文献を探したり、電子ジャーナルや電子ブックを読んだりすることもできます(5-6ページ参照)。

紙の本や雑誌だけでなく、Webサイトや電子リソースも充実しているんですね!アナログとデジタル、両方をうまく活用できたら、もっと調べ物がはかどるだろうなあ。



たのもし先輩: レポートで書きたいテーマが決まったら、まずはデータベースでキーワード検索をしてみるといいよ。テーマに合った論文や新聞記事などの情報を見つけることができるよ。

あたらしさん: なるほど、そうやって情報を集めていくんですね。しかも、電子ジャーナルや電子ブックで家からも見られるなら、今日はまだレポートやらなくても大丈夫な気がしてきました。

たのもし先輩: こらこら。万が一読みたい本が他のキャンパスにあったら、取り寄せには時間がかかるんだよ。調べ物は早めにするのが吉!それに、ラウンジや防音ブースなど、図書館にはいろいろな設備があるから、利用したらきっと課題も捗るよ。

あたらしさん: そっか、図書館って本を借りるだけの場所じゃないんですね。

Check Point

図書館にはどんな設備があるでしょうか?

今回は駒場図書館、総合図書館、柏図書館の設備を見てみましょう!



1-2ページをチェック!

たのもし先輩: ちなみに東大には、総合図書館、駒場図書館、柏図書館という3つの拠点図書館と、学部・研究科や研究所などに設置されている部局図書館が27館・室もあるんだ。これらをあわせて「東京大学附属図書館」と呼んでいるんだよ。蔵書数は2023年度に、合計でなんと1000万冊にまで達したんだ!

あたらしさん: い、1000万冊!?



Topic 04もチェック!



課題は進みそうですし、図書館の使い方も詳しく知れて、さらに勉強や研究が楽しくなりそうです。たのもし先輩、どうもありがとうございました!



わからなくなったら図書館のカウンターにいる職員さんに質問すれば大丈夫だよ。オンラインで質問できる「ASKサービス」もあるから、是非活用してみてね!

東京大学附属図書館

ASKサービス | TOP

※ 東京大学附属図書館ASKサービスは、図書、文献、情報の検索やデータベース、電子ジャーナルサービスです。



3ページをチェック!

Topic 01 大学図書館の「図書」と「雑誌」 大学生のみなさんがよく使う「図書」と「雑誌」。それぞれの特徴を簡単にまとめました。

図書: ある研究分野やテーマについて、これまでの研究成果を1冊にまとめたもの。大学図書館には主に学術書・教養書・教科書があります。

雑誌: ある研究分野の、最新の研究成果について書かれた様々なテーマの論文が載っているもの。電子ジャーナルとしてオンラインで利用できるものも多いです。

Topic 02 読書バリアフリーと電子資料

電子ジャーナルや電子ブックなどは、実はバリアフリーの観点からも注目されています。PDFやePub、テキスト形式の電子資料は、フォントや背景色の変更、文字の拡大や音声読み上げ等に対応でき、障害の有無に関わらず、様々なアプローチで読書が可能になります。東京大学附属図書館では、読書バリアフリーの一環として資料電子化サービスを行っており、紙資料の利用が困難な方を対象に図書館資料のPDF化やテキスト化を実施しています。

https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/ja/library/contents/digitizing_service_for_disabilities.html



Topic 03 オンラインで貴重資料を使ってみる  東京大学デジタルアーカイブポータル
UTokyo Digital Archive Portal

東京大学では、図書館や研究室などにある学術資産のデジタル化と公開・活用を進めています。「東京大学デジタルアーカイブポータル」では、学内にある貴重な資料のデジタル画像が一括検索可能。検索結果からワンクリックで画像にアクセスできます。この「図書館の窓」の表紙の画像も「東京大学デジタルアーカイブポータル」で見つけたもの。学習・研究に活用するのはもちろん、休憩時間に美しい画像を眺めるのもおすすめです。

<https://da.dl.itc.u-tokyo.ac.jp/>



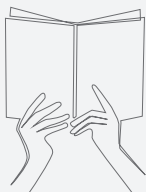
Topic 04 東京大学附属図書館 蔵書1000万冊記念「1000万冊のストーリー」

 東京大学附属図書館 蔵書1000万冊記念
1000万冊のストーリー
UTokyo Library Milestone of 10 Million Volumes

学内30の図書館・室では、各館・室の蔵書方針に従い、来歴が多岐にわたる資料を所蔵しています。歴史の中で焼失等の憂き目にあいつつも、多方面の協力を得て継承されてきた資料たち。未来へ続く通過点でもある1000万冊の努力と軌跡を、特設サイト「1000万冊のストーリー」でお祝いしました。先生方が語る「私が選ぶ1/1000万冊」を筆頭に、膨大な蔵書の魅力に触れられます。みなさんもぜひ、図書館で「あなたを動かす1冊」を探してみてください。

<https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/html/special/10MVolumes/>





DX時代にそれでも紙の本を手にする理由

昨今のデジタル化が急速に進む社会においては、電子ブックやオーディオブックなど紙媒体にとらわれない本の形態が普及するにつれて、個人の読書のありかたや、あらゆる情報へのアクセスの仕方が大きく変化してきました。また、誰もが読書できる社会を目指す読書バリアフリーの考え方をはじめとし、デジタル化によって、これまで以上に知や教養への多種多様な道が私たちに開かれようとしています。そのような潮流にあって、出版不況を迎えたこの現代でも依然として「紙の本」は求められ、生産され、存在し続けています。知へ到達する可能性は、デジタル化の革新性と並行しながら、それでもなおアナログに紙の本を探し求めて触れるという行為にも宿っているのです。東京大学に入学したみなさんも、今一度、紙の本を手にする意味を振り返ってみませんか。

本棚を眺めながら考えたこと

逆井聡人(大学院総合文化研究科 言語情報科学専攻・准教授)

前世紀の終わり頃、文学を研究する人たちのなかで書物の物質性をめぐって様々な議論が交わされた。構造主義という立場をとる人々は、書物とそれを読む人との関係のなかで立ち上がってくる「テキスト」という概念を重要視した。つまりは目に見えず、手で触れられないものでありながら、意味を生み出す重要な機構として「テキスト」があるのだ。一方で、書物の物質性にこそ目を向けるべきだという立場もあった。一人の人間が一冊の書物を手にする時、その書物がどのようにしてその人に辿り着いたのか、その流通のインフラはどのような資本や権力、あるいは暴力によって支えられているのか、を見なくてはいけないと考えた人々である。こうしたアプローチは、いわゆる政治的批評と括られることもある。とはいえ、お互いが他方の主張を認めなかったというわけではない。構造主義者はテキストの背後にあるコンテキスト(構造)こそが意味の生成に不可欠なものであると考えたし、政治的批評はテキストこそが社会の暴力が露わになる場であると考えたからだ。しかし、傾向としては前者がよりテキストの精読に向かい、後者がより書物と実社会の関係性の解明に向かったということは一応の理解としては成立するだろう。

そうした議論からおおよそ四半世紀が経った。今や多くの書物が電子化され、国内外の本を手に入れる際、電子版が最も手軽で最速な方法である。大学のなかでも毎週の課題がPDFとして配布されることが基本だし、レポートを書く際はまずはネット上にある先行論文なり批評文なりに目を通してみるということが多いただろう。こういう状況のなかでは、先の二分法でいうところの前者の方がよほど親和性が高いように思えるし、後者の方はだいぶ分が悪く、下手をすれば時代錯誤にすら見えてくるかもしれない。しかし、それでも考えなくてはならないのは、感覚的には目の前のスクリーンスクリーニングに無媒介に表示されているような文字列が、実のところこれまでの書物の歴史に類を見ないくらい多くの、様々な権力によって取捨選択されているという現実であろう。いまや書き手はネット空間を支配する少数の巨大なグローバル企業が提供するプラットフォームに適した形式や内容を前提とせずには書物を生み出すことはできず、読み手は「本を探す」という時点から既に囲い込まれているのだ。権力というのは、目に見えなければ見えないほど、恐ろしいものである。もちろん情報社会以前からそうではあったのだが、現在におけるこの「囲い込み」の規模や浸透度とは比較にならない。

では、図書館や古本屋の本棚から赤茶けた本を手にとればいいのか、という話でもない。悲しいかな、そこにも既にウェブ蜘蛛の巣はかかっているのだから。結局のところ、この潮流が加速することはあれ、引くことはない。それでも、私たちが本棚を通り過ぎる時にふと目をとめた何某かの書物は、そうした権力の網からの解放を夢想させるものでもある。アルゴリズムに差し出されたものよりも、手をのばして取ったものの方がずっと自由を感じられるのだ。

本誌中のサービス提供状況は2025年3月時点のものです。状況によりサービスが変更となる場合があります。最新の情報は各図書館・室のWebサイトをご覧ください。

図書館の窓 Vol. 63 No. 1(通号463号) 2025年3月31日発行

発行人: 大山努 編集: 附属図書館広報委員会

東京大学附属図書館発行

〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1 電話03(5841)2612 E-mail kikaku@lib.u-tokyo.ac.jp

東京大学附属図書館Webサイト <https://www.lib.u-tokyo.ac.jp/>



図書館の窓 バックナンバー

